

## 災害に負けない

中津市長 奥塚 正典

4月11日未明、耶馬溪町金吉地区で大規模な土砂災害が発生、6名の方の尊い命が失われました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りします。また、ご家族の皆様にも心からお悔やみ申し上げます。被災された皆様にもお見舞い申し上げます。

災害時の鉄則は「人命第一」です。発生時から6名の安否の確認、一刻も早い救出活動に取り組みました。大分県を通じて出動要請した自衛隊、消防、警察、地元の建設業協会、国土交通省、農林水産省、大学の専門家、大分県をはじめ多くの皆さんが駆けつけ懸命に救出作業をしてくださいました。ただ、急峻な現場で大量の土砂に加えて大きな岩石があり、二次災害の危険性も高く捜索は難航しました。12日にも渡る長期間、自らの危険も顧みず昼夜分かたず現場で捜索いただいた皆様、また、炊き出しなど様々なご支援をいただいた皆様から感謝いたします。「みんなの願いは生存救出」。それがかなわず無念です。

今回の土砂崩壊の原因は、豪雨、地震のいずれでもなく、岩石の風化ではないかと言われています。今後さらにしっかり調査分析し対策を考えなければなりません。現在、中津市には約1千箇所、大分県では1万箇所以上が土砂災害警戒区域に指定されています。区域ごとに避難方向、経路、避難場所などを記した地図「ハザードマップ」を住民の皆様と一緒につくらなければなりません。市は未作成地区の作成を急ぎます。全国的に同じような状況があることを考えると、簡単に先祖代々続いている家に移すということにもならず対策は容易ではありません。

『災害に時なし・場所なし・予告なし』。今回の悲しい出来事を無にしないためにも、科学的な知見に基づく取り組みを進め、「にぎり水が出たら気をつけろ」など先人の教えも大切にしながら、災害に負けない中津づくりに励みます。